

過疎地域(鹿屋市輝北町)の空き家を活用した親子(世帯) 山村留学促進事業『あつまれ！親子留学生の森』

【背景・課題】

- 山林資源の豊かな輝北町だが、近年は人口減少・高齢化の進展など急速な過疎化により、様々なカテゴリーで担い手不足が顕著（町内会、コミュニティ、猟友会など）
- 空き家や耕作放棄地の増加により、有害鳥獣被害も増加

【コンセプト】

コロナ禍により、地方回帰や低密度社会の実現が脚光を浴びていることから、空き家を活用して親子(世帯)で山村留学をする人を積極的に受け入れることで、地域の担い手としても活躍してもらう



次代の留学生に引き継がれる「持続可能」な山村振興サイクル

親子(世帯)留学生のお父さん・お母さんに「新しい農村政策の働き方」を推奨

半農半X、農福連携、マルチワーク、ワーケーション、テレワーク etc...

留学生と地域住民の協働組織による地域運営の実現



親子(世帯)で山村留学を希望する人たちを積極的に受け入れる

『あつまれ！親子留学生の森』



課題は「住まい(住居)確保」
⇒地域の空き家を活用!!



交流拠点も整備することで新たな留学生が不安なく移住することが可能

地域住民も新しい仲間を暖かく歓迎します!!